

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

快適北いわての家

グループの名称

北いわて快適住まいづくりの会

直近採択グループ番号

06-0556-0068

(グループ代表者)

代表者名	松本 稔	代表者印
代表者所属先	株式会社松本	
代表者所在地	岩手県九戸郡九戸村大字江刺家12-2-3	
代表者電話番号	0195-42-2293	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社菅文	
事務局担当者名	齊藤 敏正	印
事務局郵便番号	028-6195	
事務局所在地	岩手県二戸市堀野字長地75-4	
事務局電話番号	0195-23-5115	
事務局FAX	0195-22-1522	
事務局担当者E-mail	t.saito@kanbun.com	



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0	棟				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟				
				0	m <sup>2</sup>				
事務局への申請順とする。 地域材加算の配分ルールは主要構造材の割合を75%以上使用する物件とし、対象材を岩手県産材、合法木材(国内)の条件とする									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適北いわての家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、青森県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北いわて快適住まいづくりの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0556-0068	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	岩手県北エリアは青森県と秋田県の県境に位置し冬は特に寒冷な地域である。快適な住環境を提供する為、外皮平均熱貫流率(UA値)を地域にあわせた基準値以下とし、住宅は一次エネルギー消費量の削減に重点を置く。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	岩手県産材・合法木材を地域材とし主要構造材(柱・梁・桁・土台)に過半以上を使用する。地場産業(原木・製材・工務店・建材流通)を主体とした消費拡大を図るとともに、あたたかく快適な住宅を提供する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	冬季の暖房期間が長く、ランニングコストが非常にかかる。そのため日中の日射熱を効率よく活用するため、南面には大きな窓を設ける。また、夏季には日差しが入らないよう軒の出等に十分配慮し、北側へ風道をつくり防暑影涼をはかる。地域の景観に配慮したデザインとする。	○
④①～③の背景	岩手県北エリアの年間平均気温が(二戸市9.7℃、葛巻町・岩手町8.4℃、八幡平市9.3℃)低く、暖房期間がとて長い。また、特に高齢者の多い地域であることから、冬季間の住宅内でのヒートショック防止の為、断熱性能に十分配慮しなければならない。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ワンランク上の快適な住まいを一般ユーザー様に提供できるよう、知識、提案力、技術向上の為の研修会を行う。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 指定した地域材の105mmを標準サイズとする。(120mmの使用を妨げるものではない、120mm使用可)	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建材・水廻りメーカーを絞り込み、商品を選定し事務局推奨製品として活用する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 使用する構造材は地域材とし、使用部位・使用量の占める割合ルールを標準仕様とする。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ建材流通事業者が基点となり、効率よく建材・資材・地域材等の供給を行う。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ役員、事務局を中心に、使用する地域材や住宅性能を基準値以下にする検討会を開催し、会員に向けての連絡・研修会を実施する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材供給の市場状況と建材・設備機器等の新商品情報・価格情報の提供と研修会の実施。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 採用する住宅工法や使用する断熱材メーカーの施工マニュアルを施工基準とし遵守する。(必要に応じて構造時に気密測定を行う)	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査の実施。設計グループ構成員による、設計図書への遵守施工する為の現場指導の実施。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積り明細は〇〇工事一式の表現は出来る限りなくす。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 隔週で週休2日制を導入。ただし、繁忙期の現場状況により取れないこともある。(その為、盆・正月休みの日数で調整)	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 若い従業員に対し技能大赛への参加を推進し、技術向上の機会を提供。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 少数の従業員事業者も社会保険への加入を推進。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域団体開催の安全大会へ参加し、各事業者の従業員に対し朝礼時、安全と健康について注意喚起する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域における広報活動を継続し、施工構成員の存在を認知浸透させ「新築住宅なら地域の工務店」という発想がスタンダードになるようグループ一丸となり取り組む。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適北いわての家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、青森県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北いわて快適住まいづくりの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0556-0068	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービスを活用し、住宅情報の蓄積登録を義務とする。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ジャパン建材㈱の快適充実の家<住宅履歴の図書>を活用。またはそれに類した住宅履歴サービス機関への登録と活用。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報蓄積は事務局へ登録したことを報告。(施工・流通の情報供給)	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時期の設定(1ヵ月・6ヵ月・1年・3年・5年・10年とする)	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手を対象とした住宅お手入れ相談会の実施(完成見学会・住宅祭等イベント時)	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ役員、事務局、設計構成員をメンバーとし、内容を検討しメンテナンス体制を強化する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 万が一の場合には事務局が一時窓口になり、施主へ同市町村のグループ内の施工構成員を紹介し、メンテナンス業務を引き継ぐ。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材を使用して起きた症状等を研修会時に事例発表を行う。情報共有し改善に努める。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計・施工・書類に関する知識・技術を設計グループと事務局で個別対応しバックアップする。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材流通業者による施工知識の現場研修。設計グループによる指導。	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計グループによる施工チェックと指導。
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「地域材の活用と長期優良住宅」のスタンダード化を目指し、今以上の省エネ住宅の提案と供給が出来る組織作り。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1地域に対応できる住宅性能プラン作成と住宅供給を目指し研修会を継続。(BELS認定取得の性能研修など)	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材、建材流通、設計、施工会員がブランド化の広報活動を行い、地域に認知させ、施工グループの受注をフォローする。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 23 今年度の参加目標人数 6
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域訓練協会と提携し、省エネ技術講習会の開催情報をとり施工会員に受講を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅性能を向上させる為、付加断熱施工の技術研修会の実施(断熱材の種類は問わない)	◎
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		新たな施工会員や長期優良住宅未経験の事業者に対し、長期優良住宅適合認定取得の申請時点から設計、事務局、建材流通会員が一連の流れの申請サポートを強化し、取り組みやすいグループ体勢を構築する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適北いわての家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、青森県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北いわて快適住まいづくりの会	(結成年) 2012 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0556-0068														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	使用する主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半数を地域材とする。 地域材は岩手県産材証明制度、合法木材証明制度(国内)の杉・唐松・赤松・栗・桧で無垢材、集成材は問わない。 土台については合法木材証明制度(国外)の米桐防腐土台を地域材とし、使用可とする。 地域材供給にあたり工程に影響が及ぶ場合や、木材強度不足、狂いの生じ、断熱性能強化など問題が想定された場合、合法木材証明制度(国外)、PEFC認証材も地域材として使用可とする。(米松ドライビーム・ラミナビーム・WW集成材・RW集成材・SPFなど)	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【地域材の流れ】</p> <p>・施工グループの構成員において、手刻み加工の場合など地域材供給の流れの中で製材・集成材グループから直接購入する場合がある。また、一部流通グループを介さず地域材の調達を行う場合がある。</p> <p>・合法木材の一部において産地・出荷者が多岐にわたり原産供給者の特定が困難な場合、製材・集成材グループに属する出荷者による合法木材の証明書によって代替する。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 柱材・土台については建材流通事業者在庫し安定供給を図る。構造材(岩手県産材)はKD材でも曲がり等の恐れがある為、都度物件ごとの製造・納品対応。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が定期的に地域材の供給状況、価格、納期をFAXにて情報供給し安定供給の流れを構築する。(製材・集成材グループ・流通グループ⇒事務局⇒施工会員)	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: バイオマス発電、合板工場での原木消費使用量は多く、価格高騰で推移している。施工構成員より早期の現場工程の情報をいただき、地域材の製品製造、納期の調整。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	和室がある場合、本量や和障子、襖を積極的に使用し、減少傾向にある地域畳店と木工店(建具)の技術継承を後押しする。	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組	施工グループ構成員は岩手内陸部に拠点を置いた工務店であるため、通常の営業活動エリアは内陸部である。被害の大きかった沿岸地域から工事依頼や協力依頼があれば、グループ内で調整をとり協力しあう。	○												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 快適北いわての家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 岩手県、青森県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 北いわて快適住まいづくりの会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0556-0068	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅……外皮平均熱貫流率(UA値)の基準値を<math>0.46[W/(m^2 \cdot K)]</math>以下とする。                  または、BELS認証★★★★★(ゼロエネ相当)を取得する。                  相当隙間面積(C値)を<math>0.5cm^3/m^3</math>以下とする。(内部結露防止、換気計画の正しいコントロール、熱損失の削減)</p> <p>ゼロエネルギー住宅……BELSの認証★★★★★(ゼロエネ相当)を取得する。                  相当隙間面積(C値)を<math>0.5cm^3/m^3</math>以下とする。(内部結露防止、換気計画の正しいコントロール、熱損失の削減)                  冬季間の日射熱を有効に活用するため南面の窓を大きくとり日射熱を取り入れ暖房エネルギーを抑える。                  夏季は反対に日射熱を防ぐことから軒の出に十分配慮すること。                  または外部で日射を遮蔽する外付けブラインドやシェード等の採用も検討する。</p> <p>共通……完成時に気密測定を実施し[気密性能試験結果報告書]を施主に提出する。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。